

(ビジネス) 『A I ×人口減少 これから日本で何が起ころのか』 中原圭介 (著)

2018年11月17日05時00分

シェア 0 ツイート list ブックマーク 0 スクラップ メール 印刷

紙面ビューアー 面一覧

最新の朝刊紙面

東京 2018年11月17日 土曜日
地域面紙面 be紙面
天声人語
社説



各本朝刊紙面

朝夕刊バックナンバー



『A I ×人口減少 これから日本で何が起ころのか』

く 未曾有の世界だ。

著者は人呼んで「もっとも予測が当たる経済アナリスト」。果たしてこれら不吉な「カッサンドラの予言」は、覆せるのだろうか。

要因が複合する少子高齢化の元凶を、著者は子育ての困難な東京への一極集中と読む。そこから導かれる提言は、大企業の本社機能を地方へ分散し、人としての健全な働き方を再構築すること。

同時に、A Iによる打撃を緩和するため、「A I ・ロボット税」を設けて、労働市場の急激な変化を抑制。その間に、人間とA Iとの共生を図っていくことが必要だという。私たちは今、壮大な実験に放り出されている。

清野由美 (ジャーナリスト)

*

『A I ×人口減少 これから日本で何が起ころのか』 中原圭介 (著) 東洋経済新報社 1620円

その他の読書面掲載記事

(池上冬樹が薦める文庫この新刊!) 読み続けた人情話長編が終巻

(新書) 池澤夏樹、吉岡忍、鹿島茂、大高保二郎、宮崎駿著・高志の国文学館編『堀田善衛を読む』ほか

(古典百名山: 44) ジョン・スタインベック「怒りの葡萄」 桜庭一樹が読む

(ビジネス) 『A I ×人口減少 これから日本で何が起ころのか』 中原圭介 (著)

(コミック) 『あたらしい家族ができました。』(1) 与田基俊 (著)

(みる) 『箸袋でジャパニーズ・チップ! テーブルのうえで見つけたいろんな形』

■あらゆる雇用が奪われる、未来へ提言

少子化による人口減少が進む中で、超高齢社会へとひた走る日本。行き着く先は、過重な税負担と、限界まで達する社会保険料の引き上げという、身の毛もよだつ近未来だ。

現在はそこに「A I (人工知能)による自動化」という歴史的な大波が重なる。いや、A Iは生産性の向上で、少子高齢化社会を救うのではないの?という楽観論を、本書は各種のデータや事例を用いて退ける。そこから浮かび上がるのは、小売り、製造、金融業から弁護士、医師まで、A Iが「あらゆる業種の雇用を奪ってい

PR 注目情報



クイズでわかる介護

浜辺美波、親を介護する自分を考えてみた



住まいの課題を考えよう

老朽化マンション、空き家... 早めの対策が重要です!



ひざに関するアンケート

ご回答いただくとサントリー商品、約1カ月分が。※抽選で1万名様

山本編集長が語る ビジネスでは革靴?

スニーカーは? シューズ選びのコツとは

空気にこだわる住宅。

ご存じですか? 全館空調

冷えて眠れないことはありませんか?

熟睡のヒントは冷やさないことにある!

存続してゆく資格のある会社とは

漁具の老舗アサヤが感じる存在意義

ストイックに糖質制限を続けるよりも?

今から始める食後の血糖値対策

節約? 難しい? 「おうち白髪染め」事情

女性読者座談会で分かったナットク商品

アクセスランキング

もっと見る

読まれています

昨日のトップ5

羽生結弦、今季世界最高得点を更新 □ シア杯 S P 首位